

西多摩医師会報

1983年8月1日

130号

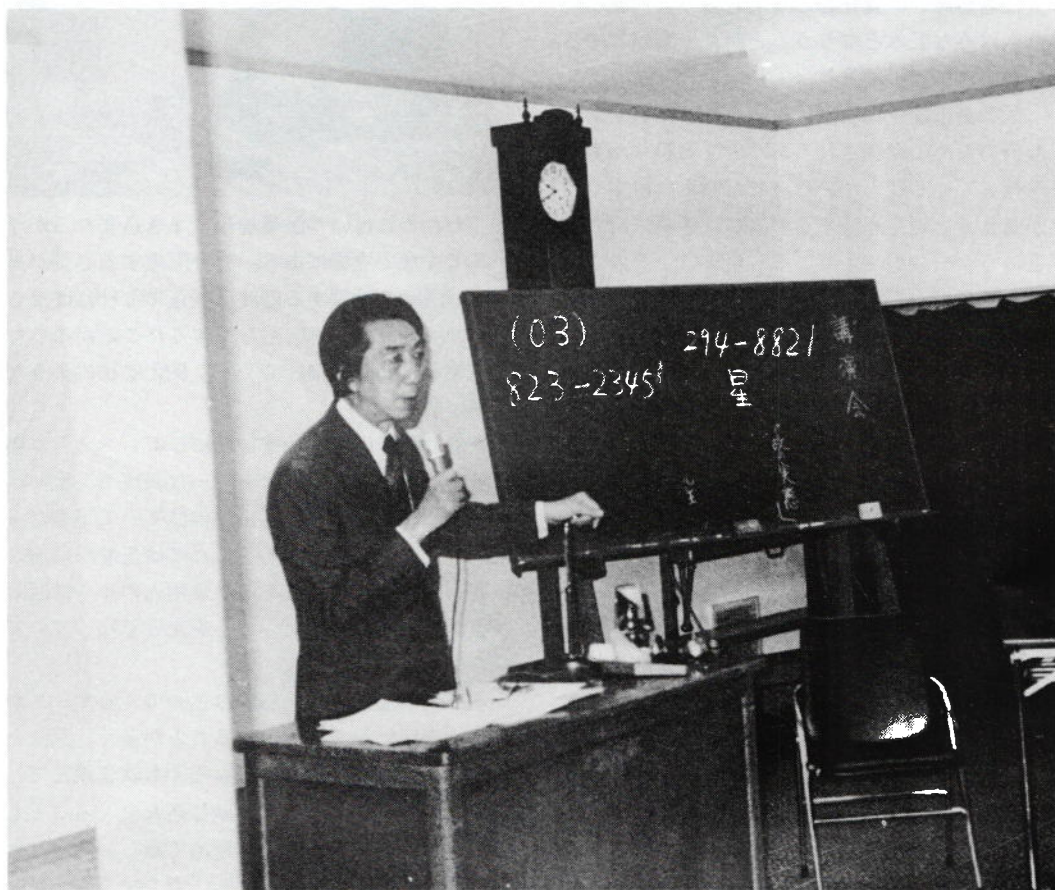
発行所・社団法人 西多摩医師会 東京都青梅市西分3-103

編集委員・菅井 義久 TEL (0428)23-2171(代)

栗原 琢磨 齊藤 信幸 塩沢 永康

高木 直 堀田 洋夫 道又 正達 村山 正昭

医事紛争多発にマスコミの影響 都医 森田理事西多摩で語る



7月14日 西多摩医師会館で講演する森田浩一郎理事(2頁に関連記事)

福祉部講演会

最近の医療事故の実態

講師 都医理事 森 田 浩一郎先生

福祉部委員会

去る7月14日、西多摩医師会講堂に於いて大変有益なお話があった。その講演内容を極く当り障りのない程度に要約すれば次のようである。

最近の医事紛争は多様化してきた。医事紛争は医師と患者の間に信頼関係が薄れているときに起りやすい。紛争多発の背景として次のような要因が存在する。

(1) 市民の権利意識の増大。

極端な例えであるが 階段で足を踏み外し倒れてはすかしい思いをしたとする。むかしは軽卒な自分を反省する人の方が多かったが最近の様がわりして、人が倒れるような階段を作った責任が悪い、責任をとつてもらう、周囲にいた人はみな証人となりうると訴える類いである。

(2) 被害者意識の増強。

医師会の賠償保険金は被害を受けた者や弱者救済のために準備されてあるとする誤った考えを持っているひとがいる。また訴えればすぐ金が貰えると短絡思考する患者が、手軽に訴えるというケースが増えている。現実はそのような患者が考えるほど甘くはない。

(3) マスコミの影響。

テレビで放映される高度の医療内容をみた患者が自分もあのようにすばらしい医療をうけられるのが当然であると考えてしまう。そして高度医療をうける必要のない患者が 自分のうけている治療に不満を抱く。あるいは、このような病気は2～3日で治ると放送されたとする。自分は10日以上経っているのにまだ治らず、反って悪化したと訴えてくる。よく調べてみるとその患者さんは10日の間、処方された薬ものんでおらず、酒を飲んでいたという極端な例もある。患者教育が必要である。医師、看護婦、医療従事者の医道だけでなく、患者の医道があること、患者の医道教育が必要である(付)。

(4) マスコミに報道された医事紛争の影響。

患者が医師を訴えたという情報はすぐマスコミがとりあげ報道する。医師、教師、警察官は

マスコミの組上りのせやすい。その報道は民事訴訟があっただけであるにもかかわらず、患者側に勝訴判決が出たかのように一般大衆はうけとってしまう傾向がある。こういった訴訟のニュースがあると、急に医事紛争や訴えが増加するのは紛れもない事実である。また、マスコミは患者側の敗訴については殆んど報道しないため、反って、医事紛争増加に拍車をかけている。



われわれはいつ医事紛争にまき込まれるか予測できない立場にある。充分配慮する必要がある。医師の医療する態度は厳正でなければならない。普段はなんでもなくすんだことがこじれてくると問題になってくる。例えば次のような類いである。

急患で飛び出して診察したにしてもステテコ姿で診察したとか、可成オーバーな表現で、髪がボサボサでフケがおちる、爪が伸びていて不潔だった。化膿もするよ。注射をしたのは正看か準看か見習い看護婦か等々である。使用人のミスは医師が負わなければならないことを充分承知してほしい。

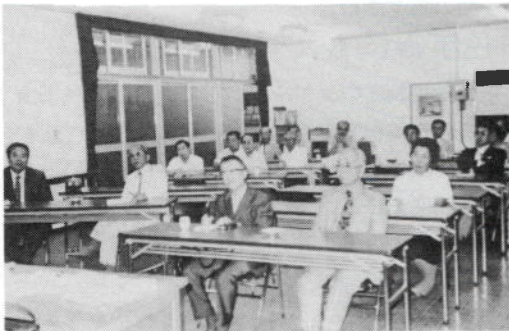
さて、事故になると怒鳴り込んでくるケースが多い。周囲にそそのかされることが多く、医師と患者の今までの信頼関係はもろくも吹き飛んでしまう。マスコミに訴えたと談じ込んでくることもある。しかし、医療問題は極めて難しい内容を含んでいるので、マスコミも たやすく取上げ、内容を掘下げて報道することはできない。

また内容証明郵便で、「本書状到着後7日以内に回答されたい」などと早急に回答を求められたにしても相手の言うとおりに回答する必要はない。その法的根拠もない。まず地区医師会をとおして、都医に連絡してほしい。

都医の電話番号は03-294-8821である。気軽にいつでも連絡してほしい。私の自宅でも結構である。都医には法的専門家がいます。医師が自分は天地神明に誓って良心的にやったし正しいと信じていても法廷で必ず勝つとは限らないことがある。法廷のテクニックは法律家に任せようがよい。

善良な医師が習慣的に出た一寸した言葉尻を握えられて失敗を招くこともある。医師として最善の努力をしたにも拘わらず患者が死亡したとき「先生の手を負えなかったじゃないかどうしてくれる」とつめよられたとき「申し訳ない」あるいは「すみません」と人情として何気なく言ったばかりに「お前は謝ったじゃないか」「自分の非を認めたじゃないか」ということになる。あのときに「すみません」といわなければよかったと後悔しても後の祭りである。

香典でもそういうことがある。30年来診ていた患者の家の経過状態を知っている医師が気の毒だと10万円包んだばかりにこれはおかしい、自分のミスがあったからであろう、でなければ、10万円も香典にもつてくる筈がない。そう言えばこんなこともあったと、患者の家の者でなく周囲でさわぎ出す。社会的通念に従って1万円の香典を包んでおけば問題はなかったのである。医事紛争中にも同じことが言える。人情紙風船の如しとはこのような世相を言うのであろうか。



先方から談じこまれたら「都医に任せてあるから」と答えたらよい。当事者でなく、都医の担当理事、弁護士の方が、ことはうまくいくことが多い。当事者の安易な妥協は厳につつしんでもらい

たい。

診療所の待合室で話しをきききれないといつていやがらせにうるさく大声で怒鳴るケースもある。このような場合は、面会強要で110番して連れて行って貰うのも致し方ないことである。診療を妨げることは別の事件だからである。相手のおどしにのらないこと。極端な例は医師の方で「いくらほしいの」「都医の保険に入っているから払えると思う」と言ったため患者が印かんを持って都医に金を貰いにくるという常識を疑わせるようなケースもある。保険の支払対象はあくまでも有責の場合についてのみであり、その場合も充分調査し、話し合い、あるいは訴訟の判決によつての支払いである。極端な場合「俺が悪かったんだから払ってほしい」と医師側から言われて、そのまま支払うというものでもない。

民事事件となってはじめて判決が出る。その際の、判決前の答弁書は判決7日前までに出さなければならない。出さないと相手側に有利になってしまう。その場合も自分で書かないで必ず弁護士に依頼することである。裁判所での判決は判例として将来残ることを我々は充分承知してはほしい。その点を判事は充分心得ていて、将来の批判に堪え得る判決を、難しい医療内容についても研究して作成する。判事にとっても苦勞の多い事件である。一件落着するのは迂余曲折のあとである。

今は証拠の時代である。自分の診療内容はすべてカルテに書くことである。患者に指導したこと、注意したこともきちんと書いておく必要がある。たとえ救命処置したにしてもカルテに記載がないと救命処置をした法的証拠にはならない。勿論不実記載はいけない。

カルテの保存期間は5年間とされているが、その5年とは、最後の診療を終えてから5年間の保存義務があることである。印象に残った患者できちんと診療し記載したカルテは後まで保存しておくことよい。10年後に役立つこともある。10年後に訴えられるケースさえある昨今である。

後医が前医の診療内容をよく調べもせずに「手おくれた」「こういう重篤な疾患だった」「カゼではなく肺炎だった」等と前医の診療内容まで立入るような軽卒な発言を患者や患者家族にしたばかりに前医が告訴されるケースも多い。

患者によりよい医療を行えるようにするためにも、充分前医と連絡をとり、過去の病状、既往を承知した上で加療することが最善と考える。また前医は後医と意思疎通をはかり、患者を紹介することが望ましい。

更に、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻科、外科、内科、整形外科、精神科の各領域毎に具体的な医事紛争の実態をわかりやすく、要点をおさえてお話ししたい。紙面の都合上割愛させていたゞく。

最近、癌診断を中心に訴訟が多くなった実態も話され、会員の注意を喚起された。

質疑応答も熱心に行われ 講演会が終了するとき、講堂の時計の針は午後10時半を指していた。

森田浩一郎先生の講演内容はもっと刻明に、事故例も豊富に取り入れてのお話でしたが、文章にしたことで、意を尽くさぬものになりました。

予めお詫び申します。

(文責 植田)

白色申告者も記帳義務!?

(税務講習会について)

医師会福祉部
植田 稔
青申医師会支部
中村 武

昭和55年4月より2年間中村が福祉部を担当しました。その間、馬鹿の一つ覚えではありませんが機会ある毎に“納税は法治国家における国民の義務であり且つそれは個人の責任において行なわれるべきものである”と申して参りました。此の主旨に沿って医師会福祉部として行なうべきことは、周囲の社会状況からすれば現在の白色申告者も近い将来には青色申告の選択を余儀なくされるのではないかと予想もあり、法に則った節税を含め納税に関する基本的知識を法人を除く白、青色申告者の別なくA会員に対し普及すべく努力することであると考えました。幸いにして当時の福祉部理事、委員の御賛同のもとに青梅税務署の御協力を得ましてシリーズものとして講習会を開催してきました。これは現在の福祉部に継承され今日に至っております。

去る7月17日の朝日新聞に—各位もお目にとめられたと存じますが—別紙の如き“白色申告も記帳義務”と云う記事が掲載されました。若しこの制度が導入されれば白色申告の医師として例外ではないでしょう。

青色申告を行なっている殆んどの方は夫々税理士に委託されていると存じますが、その場合にあつても確定申告算定の資料は事業主が提供するものであり、税理士の記載した確定申告書の内容についてはその最終的責任は事業主にあることは

充分御承知のことゝ存じます。換言すれば事業主は税理士に委託していると云っても尚且充分なる納税節税の知識を要求されるわけであります。

以上の如き理由から今年も前年同様9月頃から福祉部と青申医師会支部の協同で確定申告書記載を中心とした講習会を実施する予定であります。

税法改革の兆しが見られる今日このごろ意とするところをお汲み取り頂き白、青色申告の別なく各位の多数の御参加を誌上をかりてお願いする次第であります。

尚日程その他につきましては決り次第お知らせ致します。

(中村 記)

朝 日 新 聞

1983年(昭和58年)7月17日 日曜日

少額の事業所得者
白色申告にも記帳義務 税調部会が導入の方針

申告納税制度の改革を検討している政府税制調査会の申告納税制度特別部会は16日までに、比較的わずかな事業所得しかない人が利用している白色申告制度を厳しくし、確定申告時に帳簿、伝票類の提示と所得金額計算書の提出を義務づける方針を固めた。税制面で甘い、といわれる個人営業者への課税を強化し、サラリーマン層から高まっている課税の不公平に対する不満にこたえようという措置の一つ。大蔵省では、59年度税制改正で実施したい、としている。

申告納税制度特別部会は、昨年7月、政府税制

調査会内に設置され、このほど実質審議を終えた。審議の焦点は、申告納税者の所得を正しく把握するための方策をどう講じるかだったが、審議の結果、一定の様式に従って売上高、経費などを記帳している青色申告者以外の一般申告納税者（白色申告者）にも、所得計算の基礎になる簡易帳簿の作成と各種伝票類を税務署へ提示することを法律で義務づけることが固まった。

大蔵省は当初、米国や西独など欧米先進国が法律で定めている税務署による推計課税権限や、税務当局と納税者が裁判で争う場合、納税者側に立証義務を課すことについても法律にはっきり盛り込むことも検討していた。しかし特別部会では、これら欧米の税制をそのまま日本に導入することは無理がある、との意見が大勢を占め、結局、白色申告制に記帳義務を導入することなどに絞って

改正を進めることになった。

国税庁の調べによると、昨年の申告納税者約658万人のうち1千万円以上の課税所得があるサラリーマンや、比較的事業規模の大きい青色申告者を除いた約140万人が白色申告者。その大半は年間事業所得が300万円未満で、300万円以上は約22万人。大蔵省ではいまのところ、記帳義務を課す対象者を300万円以上の所得層に限定することを考えている。

申告納税制度の改革は、個人営業者保護を目指した戦後のシャープ税制の変革につながる。とくに零細な事業者である白色申告者が対象になることから、与野党を通じて反対意見が出ることも予想されるが、大蔵省としては「税負担の公平」をはかるうえで、ぜひ実現させたい、としている。

第59回多摩医学会講演会演題募集の案内

恒例の如く 本年も下記の要領にて多摩医学会が行なわれることになりました。奮って発表下さるようお願い申し上げます。

記

日 時 昭和58年12月3日(土)午後1時半

場 所 富士銀行立川支店 三階

演 題 自由 10分間

質疑 分間

原則として一医療機関より一題

締切日 昭和58年9月30日

400字以内の抄録を提出下さい。

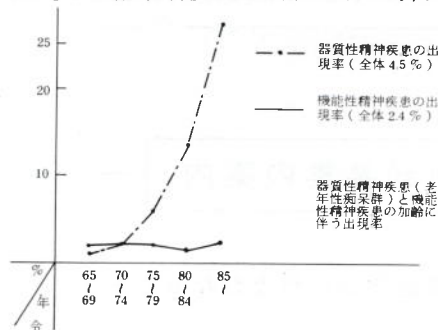
学 術

老年期の痴呆をめぐって

6月17日

聖マリアンナ大学教授 長谷川 和 夫

老人精神病 (1) 痴呆になる。器質性病変がある。老人性痴呆、脳血管性痴呆、この両者をmixしたもの。(2) 痴呆にならない。鬱病、幻覚妄想、神経症など。機能的な精神障害に属す。頭部外傷、脳炎でも痴呆になり、必ずしも老人だけのものではない。ドンドン進行する限りに於て老人性痴呆は老年期に特有である。痴呆にならない機能的な精神障害は若い人にも起る。器質性精神障害と機能的なものとは65歳以上の老人では老人痴呆4.5%機能的な障害2.4%であり、この両者の年齢による出現率を示す。器質性精神疾患は加齢と共に上昇するが、



機能的なものは高齢になっても2%前後の出現率は維持され、著変をみせていない。

診断基準の基礎となる痴呆の概念について。老人性痴呆は健康な老人に見られる単純な物忘れボケではない。日常生活の支障を来す重い機能の低下状態を痴呆と云う。健康な老人の場合物忘れが主体で、飽く迄も物忘れが持続する、ひどくはなるかもしれないが、他の機能は障害されず、進展しない。老人性痴呆では場所、時間が分からなくなる。失見当が起き、人格も変わり、幻覚妄想が随判する。

老年期の知能低下

| | ボケ状態 | 痴呆状態 |
|----------|----------|------------|
| 本 態 | 生理的な脳の老化 | 病的な脳の老化 |
| 経 過 | 進行しない | 進行性 |
| 状 態 像 | 記録力低下が主体 | 多様な知能の機能低下 |
| 失 見 当 | なし | あり |
| 日常生活への影響 | 支障なし | 支障きたす |

| | ボケ状態 | 痴呆状態 |
|------|------|----------|
| 人格水準 | 維持 | 低下 |
| 幻覚妄想 | なし | 随判することあり |

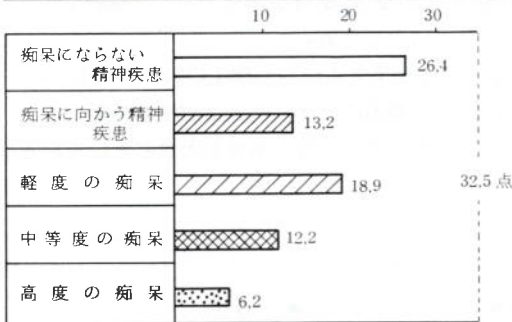
痴呆の概念で次に大切なこと。臨床検査所見です。脳器質性障害、脳血管障害、例え経過から云って脳梗塞片麻痺があり、そう云うことから次第に物忘れになる。こう云うことを契機として物忘れになって行く。CTスキャンで著明な脳室拡大あり、抑制症状の強い鬱病でボーとして痴呆みたいな仮性痴呆と鑑別を要す。3番目には意識障害の無いこと。意識障害の高齢者では向精神薬の投与によってその経過が急速で、症状浮動します。痴呆の場合そう云うことは無く、症状固定し非可逆性であります。幻覚妄想はありますが、譫妄状の意識障害錯乱ではない。但し意識障害が器質性障害の初期症状のこともあり、また痴呆老人がその経過中に意識障害を来すことはある。会員先生からの御質問もありましたが、普通の物忘れと痴呆の始まりの状態を鑑別することは難しい。臨床の患者を目前にしたとき、その知能を評価することが大切です。代表的テストとして次のテストをあげる。簡易知的機能評価スケール(長谷川)

| 質 問 内 容 | 配 点 |
|--|--------|
| 1. 今日は何日か? 何月何日 何曜日 | 0. 3 |
| 2. こゝはどこですか? | 0. 2.5 |
| 3. 年齢は?(3~4年以内は正) | 0. 2 |
| 4. 最近おこった出来ごと(ケースに依って特別なこと周囲の人々から予め聞いておく)から何年(何ヶ月)くらいたちましたか? | 0. 2.5 |
| あるいはいつごろでしたか? | |
| 5. 生まれたのはどこか?(出生地) | 0. 2.5 |
| 6. 大東亜戦争が終わった(または関東大震災があった)のはいつか?(3~4年以内は正) | 0. 3.5 |
| 7. 1年は何日か?(または1時間は何分か) | 0. 2.5 |
| 8. 日本の総理大臣は? | 0. 3 |
| 9. 100から57を順に引いて下さい。 100-7=93, 93-7=86 | 0. 2.4 |

10. 数字の逆唱 6-8-2 逆に云っ 0, 2, 4
 3-5-2-9 て下さい
11. 5つの物品テスト 例：たばこ、マッチ、
 鍵、時計、ペン 0, 0.5
 を一つ云わせて、それをかくし、 1.5 2.5
 何があつたかを問う

痴呆程度の臨床的分類

| | |
|-----|---|
| 軽度 | 1. 興味の減退 2. 計算障害 3. 置忘れ ひどい 4. 考えがまとまらない 5. 注意力減退 |
| 中程度 | 1. 最近の記憶障害 2. 軽度失見当 3. 知的労働不能 |
| 高度 | 1. 高度の失見当(道に迷う) 2. 日常生活支障 3. 年令生年月日を忘れる 4. 多く無為好褥失禁 |



182名の痴呆老人を痴呆程度の臨床分類によって軽、中、高度の3群に分け、それぞれの平均得点を求めると、軽度18.9中程度12.2高度6.2となる。つまり、病前に少なくとも義務教育を受け、通常の社会生活を行なうことが出来た老人が老年期になって精神機能の衰頽を疑われた場合、本スケールの得点が20点以下であればまず痴呆と考えること

ができ、さらに、10点以下であるときには高度の痴呆といえよう。痴呆を起こしている原因疾患は？ てんかん、尿毒症、代謝障害疾患、甲状腺機能障害、アルコール中毒、悪性貧血、鬱血性心不全、一酸化炭素中毒、アノキシア、ペラグラ等の原因疾患の有無？。脳血管障害、外傷、炎症、脳腫瘍等そう云う原因疾患が全部否定されて、それでも痴呆症状が残り固定している。そう云う疾患に老年痴呆があり、脳血管障害脳動脈硬化症とはこの疾患は全く関係ありません。50才台から痴呆になるアルツハイマ病と老年痴呆とは剖検上全く同一疾患である云う見解が支配的です。老年痴呆は原因不明、治療原因治療予防も出来ませんが、脳血管性痴呆は日本では約60%、老年痴呆は26%、不明のもの14%。血管性痴呆では神経細胞に行く血管が梗塞や出血を起こし、神経細胞が2次的に機能障害されて痴呆になるので、血管病を治療する手段がある。この両者は痴呆のうち両横網格で鑑別することは大切です。片麻痺言語障害の有無、病識の有無、痴呆の階段状進展は血管障害性痴呆であります。老年痴呆では痴呆が何時とはなしに起こり、潜在性に進行しています。脳出血梗塞では単発作丈では痴呆は起こらない。多発が特徴条件です。神経細胞全体が変性し、一般的に脳神経細胞が侵襲され、瀰漫性に拡がっている。健康な神経細胞と病変細胞機能欠落細胞とのバランスによって臨床症状が発現してくる。残存健常組織が何れ位の力で欠落症状を代償できるかと云うことである。循環改善剤代謝復活剤(ホパテ)等の薬物投与はそれを狙っている。

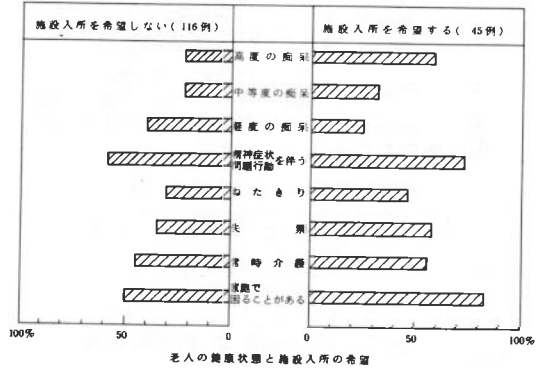
脳血管性痴呆と老年痴呆

| | 脳血管性痴呆 | アルツハイマー型痴呆 |
|-------|--|-------------------------|
| 年齢 | 老年初期に多い、50歳代より発症 | 老年後期に多い、70歳前後より多い |
| 性別 | 男子に多い | 男女比は1:3で女性に多い |
| 経過 | 階段上に増悪、症状の活動性あり | 緩徐に進行、症状は固定傾向 |
| 痴呆 | いわゆるまだら痴呆 Patchy dementia | 全般性痴呆 global dementia |
| 局在症状 | 局在性神経学的症状(運動麻痺、知覚障害)巣症状を伴うことが多い | 初老期発症のものには失語、失行、失認が見られる |
| 好発症状 | 初期に頭重、頭痛、めまい、しびれ感などを訴える 感情失禁、癡れんを伴うことあり | 自覚症状は少ない 多幸性である |
| 人格の保持 | 末期まで維持される | 人格の崩壊著明 |
| 病識欠如 | 末期になって起こる | 早期におこる |

老年痴呆の脳では前頭葉、側頭葉に萎縮著明。後頭葉は余りやられていない。脳溝開大。皮質にかなり広汎に老人斑がある。之を拡大すると、アミロイド変性が中心にあり、軸索突起の変性した構造物が周りを囲んでいる。老人斑は健康老人では側頭葉の海馬鉤の一部にしか見られない。老人痴呆では老人斑は全皮質に見られる。その由来は分らない。老人斑の数と知能低下荒廃の程度との相関を説く学者もいます。凡そ一視野の鏡検で老人斑の数15以上になると痴呆になると云われる。老人斑の数と知能障碍の軽重は一致しない例もあります。もう一つの病理所見としてはアルツハイマー原線維が、神経細胞体から軸索突起に細かい線維が走るが、痴呆になると束まってう。之をアルツハイマー原線維の変化と云い、この変化が大脳皮質の全領域に起きている。原線維変化では水溶性蛋白が少なく、不溶蛋白が増えている。

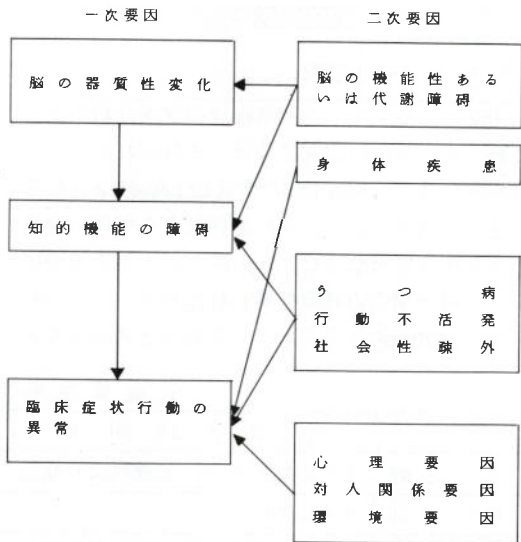
それから脳の中のアミンが加齢に伴って減少する。殊にアセチルコリン（記憶に関係している）を作り出す酵素アセチルコリンエステラーゼが少ない。ノルアドレナリン、ドーパミン、セロトニン等のアミンが減少している。之等3要素の夫々の値は区々で、3つ複合したものでその減少が明かになっている。コリンアセチルトランスフェラーゼ酵素が少なくなっている。アセチルコリンを分泌するコリン作動系ノイロンが選択的にやられているんだらうと云われ、組織病理学的所見知能の低下とも相関している。アセチルコリンの前駆物質レシチン（大豆豆腐に含まれる）、コリンを強めるフィズスチグミンを投与しても無効である。最近コリン作動系ノイロンの根元になる神経核が光顕レベルで発見。大脳底核Putamen(被殻)、Globus pallidum (淡蒼球)の腹側にNucleus basalis mier、この神経核からコリン作動物質が全部出ている。アルツハイマー病の病変部として2つから変性脱落が始まるとされている。

痴呆の場合問題行動があるためcareが難かしい夜間譫妄人物誤認夜間徘徊幻覚妄想そのcontrolが問題になる。亦寝たきりの患者が多い。施設入所希望の有無、ADL(Activity Daily Life)の改善等副次症状に対する治療と環境の調整などの治療が介護の上で重要である。



痴呆症状の治療 機能障碍が一番大切であるが、脳の器質性の病変で起きる。脳の代謝障碍、身体の病気、鬱病、悪い環境が痴呆の症状を更に悪くする。この2次要因を調整する。之を軽くしてやる試みが大切である。

Wangは痴呆老人のもつ臨床症状の要因を、一次要因と二次要因に分け、前者は脳機能障碍、身体病、うつ病および心理一環環要因などとしている。



老年期痴呆の症状、状態におよぼす種々の要因

痴呆の副次症状も、これら二次要因を背景にしていると考えられる。一次要因に対する原因療法をもたない現在、これら二次要因の制御も重要な意義をもつ。

会員諸先生の御質問に答えまして、

痴呆か、健康な人の物忘れか。之を鑑別し、早期に発見診断治療する。進行麻痺は瞳孔異常（左右不同と反射性瞳孔硬直）及び血液髄液の梅毒反応をみる。老人痴呆では日常生活に支障を来す物忘れ、自分の行った行動それ自体を忘れる。朝食後5分経って“未だ喰べない”。一人で留守番出来ない。最近の出来事（recent memory）を忘れる。数年前迄の出来事は全部忘れ、その間の欠落を埋め補う様に作話や虚構の世界にいる。意識して嘘を云う訳ではない。（コルサコフ型の痴呆？）老年痴呆とアルツハイマ型（初年期）痴呆とは大体病理学的には一疾患と見做す見解が強い。65才を境にして両者を峻別するのも可怪しい。両痴呆は遺伝の問題で一致しない。

副次症状 夜間譫妄にはMajor Tranquilizerが宣い。Haloperidol（分裂病に5～10mg）を極く小量1mg使用する。排泄が早いので副作用が少ない。Levomopromazine（分裂病75～100mg）を5mgとする。

妄想。老人の場合物を蔵い忘れたその場所を忘れて了い、身の廻りの人家族や看護婦等がその物を盗ったと云う盗られ妄想被害者意識の妄想が生じた場合之を同一の立場で討論してはならない。盗られた事実は無かったにしても、盗られたと思っている体験は事実ですから、老人のその立場迄降りて行って調べる。思い込み（信念）と云う正常心理的な要素が入っているから、妄想を消し止めることは仲々難つかしい。

痴呆の予防。予防は出来ない。高齢産婦の産んだ子供が老人になって痴呆になると説く学者もいる。脳血管性痴呆は成人病の予防になる様な事が役立つ。病弱な老人を抱かえている家庭では寝たきりにならない様種々配慮する。転んで骨折を起こさない様気配りする。風邪をこじらせないこと。鬱病になると食事しないで脱水症を起こすので、左様ならない様にする。老人は仕事がなくなると読み書きしなくなる。頭を働かせ、読み書きの習慣づけさす。どんな性格の人が痴呆になり易いか。非社交的、閉性の人。顕示性性格の人舞台の中心

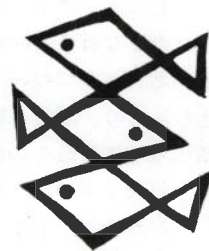
にいたがる人自己中心の人物が多い。こう云う人達は自分の内面の葛藤、生活に適応して周りとの妥協を計る防衛機能が弱く臨床症状を顕在化することが考えられる。

“老年痴呆の婦人に偶々ホパテを投与して、益々興奮状態になり投与を中止した経験あり。その薬理作用？”明確には御答え出来ませんが、直感的認知障碍、自分の家であるか否かを直感的に認知する。分析し把握するのではない直感的認知が下手になる。全然効果がありません。レシチンを投与すると心理テストの得点は上がるが、直感的認知障碍は効果が無く、全体の行動はより活発になる。ホパテの場合でも非常な問題症状は消えません。アセチルコリンのbalanceの微妙な崩れが問題になる。Dopaminも同様に薬物療法凡て然かり、個別々に作用が異り、千偏一律に効くものではありません。

ピック病 変性疾患に入り、言語障碍錐体外路症状も出現する。遺伝例はアルツハイマー病より多い。Creutz-Feld-Jacob's diseaseは変性疾患ではなく、遅発性Virus疾患で、Senile Dementiaから除れます。進行早く9ヶ月位で死亡する。

音楽療法 感情荒廃がそれ程甚くなく、感情が保持されている症例には効果がある。怒こられた出来事原因は直ぐ忘れるが、屈辱感怒りの感情は残る。音楽療法はその逆です。音楽を通してrehabilitateする、人間的生活に接近維持しようとする。音楽許りで喜怒哀楽は単純な事しか伝達出来ない

文責 窪田



— 会報編集部より —

会報129号の座談会記事の続きは都合により次号131号に掲載します。

文芸・随筆

銷夏雜詠 小泉新策

原爆の被爆 三八忌 迎えたり
 各国の参加 今年の特徵
 原爆は 五万は おろか 五千にて
 地球は 破碎 灰と化すべし
 富士の爆発 九月中旬と 予告しあり
 この警告も あだで あれかし
 禍は 時と処に 拘かまりなく 予知よしもなし
 何時いつも 到来きたるやも 予知よしもなし
 この夏は 螢火多し 暗夜空
 休荒田の 多き あかしか
 蟬しぐれ 夕立ちたゝむ 前ぶれか
 しきりに 鳴きて 雲 動く見ゆ
 ストインズム 我は心に 誓ひ来しが
 心を 病みて いつか忘れぬ
 知命にして 道説くまでも なきものを
 古稀を 過ぐるも 人は愚かし

私の兵隊太郎

—戦争体験のひとつこま—

青梅市 近藤 肇

足かけ6年の陸軍軍医としての私の戦争体験は大した苦しみもなく楽をしたと言える。うまいものを食い、酒をのみ、女を買い、よく遊び……
 そういう楽をした6年間だったとはいっても、一歩間違えば苦闘しそして死んだ道へ進んだかも知れなかった。苦闘し悲惨な目に遭いまた死んだ者だって占領地の安楽な日々がつづいていたのが一転して戦局不利となったり、困難な戦地に転戦を命ぜられたり、敵の攻撃に辛酸をなめ死境をさまよう結果になったりした。幸いに、私は生きて帰ったから、楽しい思い出の多い6年間と今書けるが、その間には、昭和16年春の浙東沿岸（浙江省東岸）上陸作戦、香港攻略戦、広東（広州）周辺作戦、戦況不利な中の、南方への補充兵員1500名を連れての輸送官として、サイゴン、プノンペン、マライ、シンガポール、スマトラ、ジャワへの楽しい旅の思い出の中に輸送船が魚雷攻撃を受けたこと、昭和19年秋には内地へ帰りただちに硫

黄島方面部隊の編成に加えられて、若しも私達を送る輸送船があったら私は悲しい戦記の中の人間となったであろう……などがあった。運命の岐路は私をして生き永らえさせてくれたわけである。
 最近、新聞で兵隊太郎の里帰りが報ぜられた。一将校が北支転戦中、作戦行動に連れ歩いた少年を内地帰還後呼び寄せ、東京府立一商、立教大学に通わせた話である。私のは中支での作戦行動中に二人の子供を連れ歩き、南京の原隊に復帰するときにも連れて帰り南京で就職させた話である。
 私は昭和15年7月に軍医中尉として南京の支那派遣軍総司令部直轄部隊なる防疫給水部に赴任した。直接戦闘部隊ではなく、作戦のあるとき第一線部隊について防疫作業にあたり、濾過水をつかって給水する役目である。
 昭和16年4月、浙東沿岸上陸作戦が行われ、私にその作戦部隊への配属が命ぜられた。作戦部隊は精鋭とされ、自転車を使った銀輪部隊として有

名な第五師団である。この部隊はのちに、大東亜戦争開始と同時にマレイ半島に上陸し、疾風の如くシンガポールに進んで名をとどろかしたが、大戦末期にはビルマで潰滅した。

午前2時を期して鎮海の敵砲台・陣地を目標に海軍の艦砲射撃が轟音をとどろかしてドカンドカンと砲撃をつづける。午前4時、敵陣地が沈黙した頃、大発（舟艇）に分乗した第一戦部隊が上陸を敢行、水際で数十名の死者が出たが上陸成功、夜明けと共に海軍の飛行機が敵を爆撃にやってきた。わが防疫給水隊の上陸は午前8時。戦闘部隊は20キロ先の中枢都市寧波をその日のうちに陥落させようと進撃する。部下15名を連れた私は河の左側に行く歩兵41連隊に配属、それにくっついてどんどん進んで行く。タバコの倉庫があり、パイレーツというタバコの山。兵は背囊に入れるだけつめて歩く。立派な金持らしい家がある。入ると老酒がある。背囊にもう入らぬ。タバコを捨て老酒を入れる。こんな行軍をして正午頃辿りついた所に兵が機関銃を構えて伏している。きいてみるとこれが最前線だった。膠着状態で前に進めないらしい。「軍医殿、ここは危いですよ」とその兵はいう。海軍の飛行機が飛んでくるがたった一機、しばらくしてまた一機、一時間に三機ぐらいしかやってこない。爆弾を落して向うの方に黒煙が上がるが、なんとともどかしいことか。民家の脇に腰を下ろしての観戦だ。民家の壁にブスッと敵弾が当りヒャットとする。間もなくそばにいた兵に流弾が当り腰部を貫通した。「熱いッと思ったら」と兵はいう。敵のチェコ機銃（チェコスロバキア製機関銃）だ。

やっと午後4時、先頭部隊は寧波に突入。私の隊もその日のうちに入る。翌日は連隊の入城式。

それから数日後、大隊が30キロ先の余銚県の首都余銚を目指して河を大発で溯江することとなり私たちはそれに配属され同乗。兩岸の敵を蹴散らしつつ、その日のうちに余銚占領。クリーク水路に囲まれた1万余の町だ。

河べりにある小さな木造三階建の飲食店だった家をわが隊の宿舎にする。部隊本部は県の役所に陣取った。わが隊の活動は市内を巡視し伝染病の防止、消毒などにあたったが、私が軍医で、隊もいかめしくなく気やすい感じがしたので病人を連れてきて診てくれというのがあらわれたり、皮膚

病の患者を兵がみつめてきてカルボール消毒液の噴霧をしたり何の事も起らぬ生活がつづいた。北のクリークの橋の検問所でスパイがみつかった。兵が身体検査をしたところ石鹼を所持しておりその中にメタルが埋めこまれていたところからその男をスパイだとした。この男は町中を胸に看板をぶらさげられて連れ廻され、目かくしをされて広場に立たされた。数百名の民衆の前で銃殺刑、パパーン、民衆は歓声を挙げた。そういう光景もあった。雨の暗夜、ピカッと稲妻が光った瞬間、南のクリークの橋に立っていた歩哨の前に二人の人影が見えた。「誰か」応答なし。二人を射殺した。二人は手投弾をもっていた。歩哨は危うくやられるところだった。

こういう生活の中、15才と12才の少年がわが隊に出入りしていて、飯炊きや雑役をやらせていた。15才の方は楼阿新ルーアシンといい、姉が一人いるということだった。12才の方は王開濃ワンカイロンといい身寄りはなかった。年上の方は積極的に働らき気もよくきいた。年下の方はお人好しのおっとりした坊やだった。

部隊は一週間ぐらいの周辺の敵掃蕩の作戦行動を時々やった。夜中に行動を起し夜明けから砲を打ち込んでその町を占領する。いくつかの町を次々に攻撃して50キロぐらいの行程でひと廻りしてくる。こういう作戦にはわが隊はついて行くのだが、二人の子供は連れて行ってくれという。給水機などの器材を運ぶのに多少は役立つから連れて歩いた。

7月、駐留3カ月の私の隊に南京への復帰命令がきた。二人の子供は泣いて連れて行ってくれとせがむ。私は部隊本部の主計将校に頼んで軍服2着をもらった。ダブダブの軍服を二人に着せて大発に乗って余銚に別れを告げる私たちに、県長や朱舜水の子孫という人や米国人宣教師たち知り合った人を含めた多数の民衆がいつまでも手を振ってしてくれた。あとできいたが、その後部隊は余銚を撤収したという。恐らく県長たち日本軍に協力した人たちは利敵行為の罪で、やられたと思う。県長が私にくれた感謝状と立派な記念品なる硯箱をみるといたましい思いがしたものだ。

南京に帰った私は、二人を私の将校宿舎に寝泊りさせたが預け先を探さなければならない。ある日、南京の中心街たる中山東路の森永の二階でコーヒーをのんでいると、「あなた一中ではないで

すか」といって近づいてきた人がいた。彼は東京市立一中（今の九段高校）の二年先輩で福昌公司という貿易会社の南京支店長をやっていた。15才の嵯阿新はそこへ住込みで預けてもらうことにした。その紹介で、12才の王開濃は阿久沢洋行とう石炭商の店にお願いできた。

たまに店を訪れたり、食事を共にしたり、玄武湖を散策したりして彼等をなぐさめ話をきいてやった。何か悲しいこと淋しいことがあると私の将校宿舎に訪ねてきたりもした。親代りのような私の顔をみればそれでよいみたいだった。時々、1円か2円の小遣いを渡した。

私が勤務を終って部隊の営門を出ると、外で私の帰りを待ってたたずんでいることもよくあった。年上の方はしっかりしていたからいつも年下の王開濃だった。「どうした、ジャングイ（旦那）に叱られたのか」「……………」無言である。涙ぐんだまゝである。何もいわず黙って私の将校宿舎までついてくる。「苦しいことがあっても我慢しろよ、早く日本語もうまくなつてな」「俺の顔を見たくならいつでも宿舎へこいよ」

彼が私の帰るのを待ちきれず営門の外でたたずんでいることは度々あった。涙ぐんで黙ってついてくるだけで、それだけでよかった。

昭和16年12月、大東亜戦争。香港攻略戦参加と広東（広州）北部作戦のため私は派遣を命ぜられ再び南京を離れた。南京の駅頭で彼等は泣いて私

たちを見送った。香港・広東を経て、広東北方の仏山県の首都仏山市に駐留し、附近の掃蕩作戦に従事した。

昭和17年7月、私は南京に戻った。彼等の日本語は可成りうまくなっていた。年下の王開濃は急に背丈も伸び年上の阿新よりもノツポになっていた。連れてきて一年、生活に慣れたのだろう。もう営門の外で待つこともなくなり、将校宿舎に私の顔を見にくることもあまりなくなった。

昭和18年6月、私は南京を離れて内地へ帰ることになった。彼等は泣いて連れて行ってくれとせがんだ。だが、これはとても叶えられない話である。南京の駅での別れ、私が渡した小遣いの5円札を彼等はにぎりしめ、さめざめと声を出して泣きじゃくった。上海駅行の列車が走り出しても彼等は泣きじゃくっており、私は列車の窓から首を出し手を振って別れをした。

内地に帰って一度だけ手紙のやりとりをしたが、すぐ私は南方え補充要員輸送に出かけたし、戦局不利の中だったり、彼等とはそれっきりのまゝ戦争は終わった。

あれから40年、彼等はどのようにしているのやら。生きていれば二人共50才の半ばを過ぎ白髪の初老の筈だが、私にはあどけない二人の少年の顔しか頭には浮ばない。誰でも戦争体験というものはずべてきのうのことではないかと思う。戦争を知らない人々には歴史につづられたひとつだが。

坐禅の思い出

高木病院 吉 武 泰 俊

小生かつて、約10年前に、故あって、主として坐禅を修業する機会があり、今その当時を振り返って思い出してみた。

坐禅を修業の根本とする宗派は禅宗と呼ばれ、曹洞宗、臨済宗があり、小生は、神奈川県の大本山に上山、安居（在籍）した。新規に安居する者は新到と呼ばれ、大多数が地方の寺院の子弟で、大学の仏教学部を卒業したばかりの者、80余名であった。

大本山と呼ばれている、そこでの生活は、世間、世俗とやかきいわれたり、想像されている通り、文字通り誠に厳格であり、修業中の者は雲水と呼

ばれ、僧堂に一同が起居し、日課は早朝4時の振鈴で始り、夜9時の開枕（就床）となっていた。修業は当初の頃が最も厳しく、2～3日から1～2週間で、夜命からがら、着の身着のまま、逃出してしまった者も後を断たなかったようだ。

主な日課は、早朝というよりは、むしろ暗いうちからの坐禅、続いて、朝課（読経）、朝食、作務、昼食、晩課（午後の読経）、夕食、入浴、坐禅（夜坐）であった。

このうち、坐禅は、一般人や、医療人にも、最も関心、興味を持たれているところであり、修業の根本もこれにあるとされている。さて、坐禅は

どのように行われるのが、本来、正式かという、永平高祖（道元禅師）が、普勧坐禅儀の中で詳細に説いており、坐禅というすぐ、眼を閉じて瞑想する事になっているが、それは大きな間違いであり、師はその説の中で「目は須からく常に開くべし」とはっきり説いており、決して、足を組んで、眼を閉じて、瞑想にふけるのではなくて、眼を開いて、むしろ何も考えないで、ただひたすら独り坐すことである。

この坐禅が、以前より、又最近でも医学的に、特に精神科領域で、治療の面で効用がとかくいわれているが、ただ単に精神統一のために坐禅をしても、その効果は疑わしいと思われる。もし効果が得られるとしたら、日課、生活のある一部分として坐禅をするのではなくて、日課全部を消化し、その中で、坐禅をすれば効用は大であろう。小生の乏しい経験、および実際の場で周囲の、その道の大家を見渡し、見聞したところでは、坐禅というのは、たいへん厳しいもので、ちよつとや、そつとでは、出来るものではなく、極めて骨の折れる修業であり、並大低の人には無理であり、とても足が痛いというのが結論であった。実際には、僧堂（一般人は立入禁止）で、全員が朝4時から50分間（一柱という、線香一本分）、夜は8時から50分間の1日2回が通常であり、また特に夏冬の年2回、接心（特別の年中行事）には、1週間、朝4時から、夜の9時までぶっ続けに坐禅をすることになっている。

次に食事の事では、典座寮で作られ、世間一般

でいわれている通り、肉食厳禁、菜食ということになっており、朝は粥、昼も粥、夕食は普通は米飯であり、これの繰り返しが毎日である。これが大原則であり、こんな事で栄養は大丈夫かという、小生はこれでも体重がかなり増加しており、もっとも生活が不規則から規則正しくなったのが理由であろう。大原則はそうであるが、また、寺院を訪ずれる、観光客には、ことさらに、誇張して、厳格な菜食主義を披露するのではあるが、日常の実際はというと、今は昔であり、記憶は確かではないが、時が経るに従って、次第に、時折、部所によっては、外部の者の眼の触れないところで、これ以外の物を食べたり、あるいは、酒も飲んだりしていたようであった。

これは余談であるが、私用の外出は厳禁されており、夜9時には、全員が就床することになっており、誰も外出することは不可能となっているが、寝静まってから、こっそり、山門から夜の町、ネオンの街に出かける者がおり、小生も2〜3回、夜外出し、夜の街中で、偶然、古参の者に出くわしたが、もともと夜の9時には全員が平等に承床しているはずであり、誰にも会ったり、見られたりすることはないはずで、翌朝何のおとがめも無かった。このような、朝4時の起床にはじまる、日課の毎日、修業を6ヶ月間続け、ほうほうの体で、下山した。得られたものは、もうこりごり、坐禅というのは、悟りどころではなくて、何と足が痛いことか、それでも小生にとっては早起きは三文の得ということであった。

趣 味

堤 次 雄

暑い日の昼下り、新聞紙をかざして ごろりと横になる。なま暖い風にふかれ汗をかきながらいつしか まどろむ。

これが 私の一番の銷夏法である。

ワイフが、「あなたの趣味はゴルフと昼寝だけかしら。私達もどんだん年をとるのよ。ゴルフは元気な時だけじゃない。………」

ワイフが 云いたいのは体力が衰えてからでもできる趣味をもつべきである。それも夫婦で同じ趣味をもち楽しむのが一番よろしい。

家の中で静かにできる絵などは最もいゝのではないか、とこう云うことらしいのである。

今年の春だったか 当医師会の杏六人衆のグループ展があったが、その影響がどうもあるように思われる。

あたしも ひょっとしたら、何んて気がおこったのかもしれない。

芸術はそんな甘いものじゃない。厳しいものだ。あの方達は才能がおありで、しかも 努力されてあんな立派な作品をものにされたのである。

才能が無ければ できっこないのよ。

素人女の浅はかさよ。いや失礼。我がワイフは、それがどうしてわからないのか。

なんと芸術をイージーに考えておるのか。

自慢じゃないが、私は小学、中学を通して図画と書道は常に成績は下であった。

先生から、「お前のは汚ないのお。もうちょっと丁寧に書けんもんかのお。」といつも云われておつた。

今でも、自分で書いたカルテの字や絵がわからなくなって、事務の女性に、

「あのお。これ何と書いてあるのかな？ この絵は何を描いたのだろうか。」と聞く始末である。だから、私には絵の趣味はとても無理なのである。

そばでワイフとのやり取りを聞いていた高校生の息子が、

「じゃ、俳句などどうかな、お父さん。」と横から口をだした。

「俺ヨオ、小六の時に俳句習ったから少々の心得があるよ。季語と云うのがあってさ、それを入れて 五、七、五の十七文字に纏めるわけよ。」

と云って 息子は小六の時の作品集を自分の部屋から持ってきて紹介した。

赤茶けたのを引っぱりだして 何と物持ちのいい奴だ。

A君の作品

「アイススケート、スッテンコロリン、イテテノテ。」

「何だ、これカナ文字ばかりで、電報じゃないのか。」「何たって、小六生の作品だよ。冬の日、多分、正月頃の風景と思うな。スケートやってる時に 転んで痛かったが、とても楽しかったと云うのがよく表現されてると思うよ。」

B君の作品

「桜の木、花散りあとは、毛虫うじゃ。」

桜の花はもう散ってしまった。後に残った葉っぱには毛虫が うじゃうじゃ いる。

痒くなりそうな句だね、実感がでてるよね。」息子が云うように、俳句は語呂合わせのように調子がよく楽しそうである。

わりと簡単にいけそうな気がする。

私は一句をものにした。

「百日紅、尺取り虫も滑り落ち。」これどうじゃ。

真夏のかんかん照りの日差しを受けた ピンク色の百日紅の花が かげろうの中で ゆらゆらと燃えている。尺取り虫は 日陰の涼しげな小枝の方に懸命に移ろうと体を伸縮するのだが、余りの暑さに 彼女は力つきて、つるつるの幹を滑り落ち 哀れのびてしまった。

世は無情。真夏の小さな悲劇をよく表現していると思うのである。

息子は「ハッハッハ お父さんの俳句も力んだわりには、小六生のと大差ないよ。現実には厳しい。芸術は甘くないと思うよ。ね、お父さん」

かくして、私は室内での静かで高雅な趣味を持つことに、自信を完全になくしたのである。

私は やはり、下手と云われ、フォームが悪いと蔑まれようと、気力、体力のある限り、自分の健康のため、ひいては患者さん、家族のためにゴルフを続けていこうと思つたのである。(こじつけ。)とは云え、人生、明日のことはわからない。

突然、ある日から、背中を丸めて、ゲートボールに打ち込んでいる私の姿を、皆さんが見かけられるかもしれない。

レ イ ン ボ ウ

井 村 進 一

さしあり緑陰随想のふさわしい季節。それにしても奇妙な夏だ。エル・ニイニヨ現象、S氏の予想による本年九月×日の富士山大爆発、その他、地球的規模の異常気象が日本での異常を説明できるといわれる。こういう環境は直接、間接に人間の精神活動にも変化を及ぼすだろう。

湿度八十三パーセント、千六ミリバール、二十

八度という環境にいと、およそ正常な精神活動は期待出来ない。クーラーをいれようと妙にだるくなって関節がおかしい。年令のせいかな。

このように責任転嫁してから書くことのかなしさをお察しあれ。では散乱思考を始めよう。

レインボム・システム構想が厚生省保険局から

発表された。保険医療機関から支払基金・国保連合会へ、そこから保険者へと、虹の懸け橋を渡そうという。その虹はコンピュータ回線である。虹は七色といわれるが、これは日本人の認識であり、五色とも三色ともいう文化圏がある。色の識別も時代により、文化により異なる。

コンピュータは五色や七色にとどまらない。その機能の進化（あえて進化という）とともに無限の色を現わすことになる。厚生省は今のところ医療経営の合理化、近代化や、ペーパー・カルテレス診療、ペーパーレス・レセプト等、バラ色の虹を描いてくれる。審査体制への直結という黒い虹は否定されている。しかし、実に初歩的な操作で黒い虹は出現する。フォートランとかコボルという神秘的な機械言語を知らなくとも充分だ。第五世代のコンピュータまで考えにいれると、この虹は医師の生涯教育に利用されるだろう。しかし、機能進化とともに医師個人の裁量権はその基盤を喪失することになる。専門家システム・コンピュータが、推論の過程を示し、次に私が行うべき治療を指示するだろう。一人の人間がいくつかの分野のエキスパートではあり得ない現代医学の進歩の速さを考えれば、これは恩恵といえるかもしれない。現在の診断コンピュータの誤診率は十パーセント以上、二十パーセント未満という。高名な教授の回想に、誤診率は十四パーセントだったという述懐を読んだことがある。コンピュータは驚異的な有能さを示し、それがあまり遠くない未来にプレゼントされるだろう。裁量権の喪失はそのようなかたちでやってくる。

最初の計算機は意外なことにかの「パンセ」の著者パスカルであった。千六百四十年代である。ついで予定調和説、モノド説、合理論で知られるライブニッツにより改良が加えられている。千六百八十五年、ニュートンの万有引力の法則が発見された頃だ。この年は石門心学の祖、石田梅岩が生まれ、日本の経済学思想を生む。

パスカルの計算機とその発展は機械的なものであった。千九百六十年頃、医局の片隅で先輩がガシャガシャ・チーンと操作し指にタコが出来たと嘆いていたものの源流はパスカルだった。

セフェム系抗生剤を連想するが第一世代のコンピュータは真空管であった。第二世代はトランジスタ、第三世代は集積回路により構成される。現

在はこの第三世代の末期にある。超LSIが第四世代で、バイオテクノロジーにより、セフェムも第四世代に入って行くだろう。第四世代コンピュータまでをフォン・ノイマンの機械という。第五世代のそれを非フォン・ノイマン構成と呼ぶらしいが、これはパターン認識も出来、従来の単なる情報処理システムの域を超え、知識を知的に処理する。知識情報処理（処理というより統合という方がふさわしいと思われる）システムは人工頭脳であり、学習可能、創造性ありと推定されている。この八月一日に発行されたファイゲンバウムとマコーダツクの「第五世代コンピュータ・日本の挑戦」（TBSブリタニカ出版）に次のような記載がある（百五頁）。ファイゲンバウムが七十年代初期にカーネギー・メロン大学で講義をした。彼にとって指導教官であり、心の父とも仰ぐハーバート・サイモン教授が聴衆のなかにいた。千九百七十八年、サイモンは経済学でノーベル賞を受けた。「コンピュータ科学の分野にノーベル賞のようなものがあれば、最初にそれを受けるべき人物はサイモン教授です」と彼はサイモンに手紙を書いている。偶然にも私はサイモン教授が去年スタンフォード大学でハリー・キャンプ記念講演をされたときの原著（スタンフォード大学出版）を四日前に読み終ったところだった。意識（内容も含めて）すれば「人間事象における理性の限界」とでもいえようか。「第五世代」を読み乍らサイモン教授の意見とダブって見分けのつかない戸惑いを覚えたが、ファイゲンバウムの方が結論的には大いに楽観的であると思う。

数日前に「生産性向上シンポジウム」の特別講演者として招かれた文化人類学者、構造主義で著名なレヴィ・ストロース氏のお話をTVできいた。かなり感動的であり、今世紀の頭脳からとび出すいくつかの皮肉な発言は殊更愉快であった。サイモン氏の講演、「第五世代」のファイゲンバウム、レヴィ・ストロースの発言、そのすべてが極めて散乱した印象として頭の中にあふれているのだが、奇異なほどに私の中では一つの焦点に収斂している。この三人の教授は極めて学際的である。予言的である。十年先の予想はたて難いが、三年先まではかろうじて予見しうるものと信じられる。学際的にも、行政的にも小異をすて、大同につかなければ自らの崩壊を免れないのが組織の

運命となろう。

例によって、ひどく話がそれてしまった。

先月中旬にK大経済学部教授の友人がケンブリッジへ交換教授として出かけた。猛暑だという。彼が出発するとき、日本は冷夏だった。時差ボケと三十六度の暑さから、少々バテているようだ。彼の住いはロングフェロー・ハウス。その二階にいるという。一階には「ジャパン・アズ・ナンバーワン」の著者、ヴァーゲル教授がいる。いつかTVで彼の息子が出ていた。何ともまとまりのない

その発言から、オヤジさんの嘆きを想ったことがある。ヴァーゲル氏曰く「奴は交換学生で日本にいる。とても人の好いナイス・ガイである。しかし、何も得るところなく帰国するさ。要するに、絶望的なほど場違いなチャンスなんだ。生かせる道理がない。無能さに気づくだけの有能さがあれば、一般的、平均的な日本人なみのアメリカ人にはなるだろうよ」とのこと。親とはつらい役割、洋の東西をとわれないものようである。

流 れ

鈴木 修

中庭に半坪ほどの小さな池があり大雨が降ると池の水が溢れて流れ出す。又家の土台下に排水用土管がづらぬいていれてあるのだがそれでは間に合わなくて家に囲まれた中庭全体に水がたまり大きな池の様になる。小さな池にいた魚は溢れた水と共に泳ぎ出て苔むした木の根本、飛石の間と開放された様にはつらつとして群をなして泳ぎ回る。暫くして雨も小降りとなり水がひきはじめると泳ぎ回っていた魚は白い腹をみせてピチピチとはねる。早速捕らえて池に入れる。故郷での幼い頃の楽しい思い出である。

こんな思い出が頭の隅に残っていた為かも知れないが自分の家に小さくともよいから流れのある庭が欲しいと思っていた。何年か前家の周囲を改造する機会に思いきって小さな流れを造って貰った。10m足らずの短いものである。笹舟でも浮かべれば緩かに流れる様なものを頼んで小さな魚でも放泳出来る様にした。それに伴って池も造った。狭い庭にゴルフのクラブを振る位の場所も欲しいということで池の方は小さなものになってしまった。池が出来流れに水を流して見た。以後流れに水を流す為にボーリングをして池下水を汲み上げて流さうと思ったがボーリングをしても必ず池下水が出るかどうか請負えないといわれてやめてしまった。流れに放つ魚は錦鯉にした。小さいのを十数匹買って来て流れに放した。暫くは楽しそうに泳ぎ回っているが間もなく池の方に入ってしまう。何度流れに帰しても池の方に入ってしまう。他の種類の魚を流れに入れても同様間もなく池の方に入ってしまう。致し方なく流れでの魚の放泳

を眺めるのはあきらめた。

池の錦鯉は1ヶ月足らずで何故か全部死んでしまった。次は少し大きめなものを買って来て入れた。「錦鯉の飼い方」という本を求めて首引きでやつて見たが、病気になったり虫がついたりして殆んど死んでしまった。もつと大きいのが丈夫だろうと20cm位のを追加した。冬凍傷にやられたりしたが現在は7匹が生きながらえている。数年前その中の2匹がお腹が大きくなり卵を生んだ、その折も参考書を見ながら浮草を入れて産卵させ、それを別の水槽にうつし、ポーフラの様な雑魚が無数に動く様にまでなった。これだけいけば半数位は成長するだろうと期待していたが次第に動かなくなり、1~2週で数匹に望みをかける破目になった。然しこれらも数日で全滅してしまった。以来鯉のお腹が大きくなってそのまゝほっておく、産卵する場所がないと自然に消滅してしまうらしい。

その間流れの方へは川から釣って来たはや等を入れるのだが深い池の方え入ってしまう。今では夏の涼しい風情と流れの音が気分をなごませてくれる。又鳥が下て来て水浴びを楽しんでいる。

流れをつくった当初は周囲石ばかり目立って庭中石ばかりという感があったが今では周りにさつき、どうだんつゝじ、はいびやくしん、とくさ、しだ等々緑が増え、石がおゝわれまあまあの眺めとなった。錦鯉もなれて、餌を与える時は大口をあけてあつまってくる。

流れ、池が出来て間ない頃は家族総出で月に2回位大掃除をして来た。その後だんだん手伝う人

も少くなり、診療にかこつけて私もあまり手をださなくなった。今では独りで致し方なくブブブいながら月2回位は流れ、池の掃除をしているようである。そのうちに掃除するのがますます大

変になったら錦鯉は秋川に放流して、枯山水の様にしようと話している。今でも流れをとめて、流れの玉石と周囲全体に打水をした風情も悪くはないから。以上

焼き芋とヌード

米山秀雄

病院勤務をしていた頃、電車で30～40分の処に小川油絵研究所があった。濃尾平野の冬は伊吹下ろしが身にしみた。冬の夜、研究所の帰りに街角で買った熱い焼き芋で腹を暖めながら、電車を待っていた。やっと来た電車に乗って、あみ棚に焼き芋の袋をおいた。車内が暖房で暖い、芋の臭いが車内にただよって来た。乗客が笑顔になる。腹の虫がグーグーと音をたてた。そんなことを思い出した。

研究所に通っている内にヌードを画くことになった。急所もあらわにソファーに寄ってポーズするモデルに一瞬グツト女を感じた。医者なら誰でも医学生の時経験したと思う。婦人科の実習で先生と入れ変りに内診するときの気持、一瞬女の実在感に圧倒される、しかしすぐ自分の責務にもどって強く雄々しく仕事に専念したことを。

クロッキー、デッサンと進んで行く内に解剖学の基礎が脂肪と皮膚につつまれているはずのヌードはそれ等を越えた、美の宝庫であることに驚きと、新しい発見をしたものだ。

立つ、寝る。ひねる。少しの変化でこんなにも美しい線が次ぎ次ぎと生れて来る物が他にあるだろうか。

静止したヌードの美に加えてヌードのムーヴマン(動勢)も亦すばらしい美である。

彫刻家オーギュスト・ロダンは男女のヌードモデルに自由に部室の中で行動させておいて、一瞬ゆらめいたポーズをとらえて創作したという。ロダンはヌードの美について、いっている。「美人は速に移ろいます。女とはあたかも傾く太陽が間断なく変化を与える風景のようなものだ、などとは決していわない。だがこのたとえはほぼ当てはまります。

真の若さ、妙齡の処女のそれ、身体が実に新鮮な水々しさに充ちて、繊美な誇らしさに集中され、愛をおそれるがごとくである。と同時に又愛を招

くごとくでもある。それ、そんな瞬間というものはほとんど僅か数ヶ月の間つづくに過ぎぬのです。

母なるが故の歪形についてはいわぬとしても慾望の疲れと情熱の嵐とが急速に組織を解き弛め、そして線をたるませ、若い乙女は女となるのです。それは又別種の美しさです。だが純粹さは衰えているのです。」と。

そんな思索を彼はモンマルトルの丘に立つサクレ・クール(聖心修道院)で云っていた。

しかしその頃サクレ・クールは幾人かの借手によってしめられていた、ロダンもまたその人々の中に彫刻家として入っていた。この白亜の建物は、芸術家にとって最も美しい夢想の住居であったことであろう。

ロダンはそこで幾つかの大きな部室を自由に使用していたことであろう。かって修道尼の監督のもとに厳しい教育を受けた乙女達の部室で、彼は若く美しい女達のヌードを前にして孤独に浸り、彼女等が示す新鮮な姿態を無数のクロッキーにとどめている。

30数年前「ロダンの言葉」の訳本を読んで、遠い国の夢のような話と思っていたが、その聖処女の神聖な祈りと女達のヌードの美との幻影を現実の思いで、今私は白亜のサクレ・クールを見上げている。モンマルトルの丘に健康な私を立たせてくれた世の流れは私の夢を現実にしてくれた。

絵の師でもある大国章夫先生はパリに初めて着いた時、パリの街はすべてが絵になり、画くのにとまどい、感激のあまり涙が出たと云われた。

実際夢に見るか、頭で考えるしか出来なかった遙か昔にあきらめていた宝物を、今この丘の上からパリの市街を展望しつつ発見する思いだ。あの街、あの森、あの岸边は、偉大な芸術家に会えたような感激を与えてくれる。感性の劣えた私にさえ、若い感動をよびおこしてくれた。

以上

少年時代，夏休みの一日

窪田 勇

中学一年の夏休み。今を溯ること五十有二年。七月末吾々一行20数名の若者達は打連れて、元気に海に臨む隣村日置迄歩いて10軒足らず、白砂青松の吹上浜にキャンプ行きました。吾々一行とは伊集院町学生会（旧制中学一年生以上の学生生徒達）の仲間達です。この砂丘は小学時代毎年春三月日帰り遠足で訪れている処です。薩摩半島の東岸は鹿児島湾。この海岸はその西海岸として東支那海に臨み、白砂青松の砂丘30軒、更に海岸は島の先端野間岬迄弓状に延び（20軒）、岬は海拔571米の野間嶽の円錐の影が遠く望まれ、趣きを添えています。洋々と眼前に展開する東支那海水天を領かつ一朵の水平線。天際涯無き蒼穹。中天に輝かす灼く太陽。地は足裏を灼いて接地もまつならぬ浜砂。之が吾々一行のキャンプ地である。肺腑の奥底迄滲み亘たる潮風。半日を出ずして別天地に遊ぶ吾々は自分を忘れ、自然の懐ろに抱かれて蟠だかまり無い。地曳き網の漁師達の姿態もこの景観の点景であります。在るものは海と空そして自分丈であります。

夏海砂浜に来た少年達は先づ泳ぐ。海には一寸遠い山地から来た吾々は無条件文句無しに水に浸たり泳ぐ。七月の土用波。その高く砕ける波頭の中に雄躍突込んで行きます。水の深さは精々胸や肩の深さ迄です。汀から20~30米の距離、腰迄の深かさがあれば、波と戯れ泳ぐには必要充分の深かさです。ヨットやボート等の有ろう筈もなく、跳び込み台もある訳でもありません。土砂の汚れも無い自然の海であります。底は砂地で、普通の地面を裸足で歩くのと変りません。泳ぎは平泳ぎが快く、誰も皆自然にその泳ぎになっています。波との戯れ泳ぎに倦きて、鯛（アサリ）や蛤を採ります。拇指頭大そこそこの大きさが普通です。波打際で砂地に眼配りし乍ら涉ります。貝を拾うのは次の波が押し寄て来る迄の束の間の勝負です。海表面（ウミヅラ）を渡って来る波の山は2つで崩れ、浅い水の流れとなって斜面をサーツと素洗いしますが、水は瞬く間に砂地に吸い込まれ、残りの潮は海に引き戻され、こうして砂地が露されると慌わてて砂地に潜り込んでいる貝を

間髪を入れずに伸びた手が掴みかみます。汀では海の波と同じ周期で之を繰り返すので、砂地に刻まれた足跡は次の波に大低掻き消され了います。こうして足を波に浸たし乍ら汀伝いに30~50米位涉り、貝を拾います。或は干き汐で出来た砂州に涉って、ここで腰を据え足を投げ上げて、貝を掘ります。収獲は小一刻の貝掘りで両手一杯もあれば、相当なものです。泥混りの濁りは無く水は澄んでをり、河口からも離れているので、プランクトンや貝の栄養物に恵ぐまれず、貝自体それ程多くはないのでせう。

夕日が沈む。大きい真円（マンマル）の太陽は遙か彼方の水平線に、燦然と光り輝き乍ら水平線に正切しようとしている。西空の西色の曇は陽光を浴びてその縁は射（キラ）めいている。雲間を縫い放射する光彩は頭上天心に迄その光芒を届かせている。海の波は金波銀波に揺曳し乍ら汀に佇む吾々の膝下に至たる程である。この落日の壮厳な景観に魅せられ、言葉もなく思索もなく吾々は黙して太陽に祈るかの如くである。砂州の跡翳も消え、汐は満ち、岸に寄せる波のあらがいも遠いかの如くである。刻一刻没して行く太陽。海面（ウミヅラ）は翳が弥益しに濃ゆく、暮色は蒼然として迫って来る。残光を浴びる白曇、余照の夕焼け空は黄に紅に紫に彩なる色の微妙な変化を見せ乍ら、夕闇は何時しか深かくなって行く。月のない今夕、東の空に星が一つ、又一つ。次々に瞬き始めている。

編集委員村山正昭先生に寄稿を求められ、題は何でも宜しいとのことでした。題は随意にと云うことで、一見寄稿は容易に思いましたが、敢てとなると、" " " "。標題の如く変なものになりました。少年時代夏の一日落日の感銘が想い浮かび、儘よとそれに従うことにしました。安岡正篤先生はその著“世界の旅”冒頭航海の章で次の様に書かれています。" " " "。少年時代の読書ほど恐ろしいものはない。いつまで何が残っているか測られないものである。" " "。読書と眼ぎらず、少年時代感銘を受け脳裏に刻まれた経験も左様ではないかと、稿を了るに当って思う次第です。

不 便 な 電 話

松 原 貞 一

20年程前の話である。

福岡で開業している同級生の息子が、喘息学校とかで夏休サマーランドに来ていた。たまたま発作を起したと友人より長距離電話があって、一晚預って治療をしたことがある。発作もいち段落したので、友人と連絡をとろうと思って息子に電話をさせた所、話し中の連続でサッパリつながらない。

「ママが電話しているらしい、1～2時間はかからないよ、しょっ中だから……」

と済まなさそうな面持ち。今でこそ女のなが電話は常識となっていて当節話題にもならないが、明瞭、簡潔を旨としていたひと昔前の話として大変な驚きであった。

我が家にも家人、娘に加えて豚児までが、夕食後のテレフォン・タイムには三っ巴の争奮戦を演じる。

どさ？（どちらえお出掛け？）

ゆさ。（お風呂えちっと。）

的な会話を好む家のアルジは、今別れて来たばかりで明日も又会うという友達に、何故夜間長時間電話をしなければならぬのか何としても理解に苦しみ、喧嘩口論をいどんだこともあるが、家人を敵に廻しての争いとあらば、所詮衆寡敵せず勝敗は自づと決まり、今ではすっかり諦め顔で、横を通る時些か不快の情を表すのが精一杯の抵抗となった。当方3人が一順、二順してやっといち段落受話器があるべき座に落ちついたかと思うと、今度はいつ方ともなく当方にかかつて来、アルジがひと眠りして手洗いに起きてみたら、末だに話しが終ってなかったことも再参である。従って一家のアルジたりとも、俄か雨に駅より電話で迎えを頼もうと思っても通じた例がなく、タクシーの行列にシビレをきらし、週刊誌を頭にとんで帰る始末。ゴルフの友人に聞いてみても、いつこも同じ事情のごとく、夜は俺ンチに電話してもかかんないヨとこれ又すっかり諦めている。

患者電話と間違えて出ないようにと、悪友同志暗号を作り、ピーピーピーと3回なっては切れ、切れては又ピーピーピーと3回鳴る電話は誰それのと悪る智恵を働かせていた向きもあるが、こ

れが又長電話のため役に立たぬと嘆くのである。病院の電話も、湯上がりひと息ついた看護婦たちのラブコールが始まると、かけたりたたたりが深更に迄及ぶ。我が青春の頃は専らラブターであり、アバタもエクボを臉に浮かべ、煎餅蒲団の中で迷文を考えては嘘八百を書きつらねて、何とか物にせんと意気込んだ昔が懐しい。当時腰に腕を回すとふた回りもするのではないかとさえ思えた彼女の柳腰も、20数年の風雪の重みがすっかりその形を変えてしまい、貫録と引き替えに今や腰やいつこと探し求める程になってしまった。

こんな話もある。電話はタダではないぞ、短時間にせいぜい〆と怒鳴ったら、途端に「パパのケチ。」と娘の反撃をくらった。アルジは未だに信念を曲げていない。かって役場の電話を拝借、通話料とて一金10円也を置くのは常識と財布より取りいだすに、職員は不要と言う。町民が使えば役場の電話はタダなのかと思えば左にあらず、10円置いて行かれても、収入として入れる項目がないので置かれた方も事後処理に困るというのである。世の中は全くムヅカシク出来ている。

話は再び元に戻るが、ラブコールの際も顔が見えるとモット楽しいジャンとテレビ電話なるもの迄出来ると聞くが、そんなものが出来た日には、湯上り腰にタオルをまきつけて出ること能わず、寝込みの電話など大急ぎ顔を洗ってお化粧し着替をしてなど致していたのでは、気の短かい御仁は受話器をおいてしまいかねない。アルジなども、日曜日一杯呑んでゴルフトーナメント観戦中のTELに、「先生、本日ゴルフにお出掛けでいらっしゃいませませんが……」と声色を使って診療を拒否することも出来なくなる。長近ではINS（インフォメーション・ネットワーク・システム）とかいって、色々な情報網が居間のブラウン管に総て組み込まれてしまい利用者は大変便利になりますと、電々公社が三鷹市を使って試験開発・東京都医師会も未来の情報化社会に対応とばかり意気込んで、講習会まで開く始末。病院のコンピューターと直結すると、患者は炬燵の中でお茶を呑みながら、ブラウン管に主治医を呼び出して示指を求めめることも出来、主治医はその場で処方箋をかく

と、これが又ファクシミリとかいう茶の間のプリンターに即座に出て来て、利用者は大変便利になりますという。利用者は大変便利かも知れないが、茶の間にまで呼び出される主治医の立場はどうなるのであろうか、電話再診料でさえ頂き兼ねている昨今なのに、そんな事にでもなったら医療費は

いか様にしてご請求申し上げたらよいかと、3時間待たせて3分しか診療しない良き時代に育った当家のアルジ等は、開け行く便利な未来に大変な不安と幻滅を感じ始め、この所夜も落ちついて眠れないそうである。

労働衛生コンサルタント試験体験記

高木 惟史

大学を卒業して約15年以上になるが、この間受験の経験といえば、12年前の小型船舶操縦士国家試験位のものである。医師の国試も現在と違って、予備校が繁昌するほどの難関ではなかったから、現在から振り返ると殆んど実感が湧いてこない。

特に開業して10年余り、日々の多忙にまぎれて専門書なりを、学生時代のように絶えず、試験を意識して、じっくり腰を据えて読破する意欲もあらばこそ、暇があれば、テレビ人間宜しく横になって、ドラマでも見ている状態であった。

昨年、医師会の産業医担当理事を拝命したため、少くとも、日本医師会主催の産業医講習会は、受講しておかねば、話になるまいと、当時の故箱崎産業医部長の意見で、一諸に出かけたのであった。

この講習会は3日間、朝より夕まで1日完全に罐詰のスケジュールのため、自分の仕事は、犠牲にして、出席しなければならず、大変ではあったが、これを終了すると、日本医師会認定産業医のお墨付がもらえ、更に労働衛生コンサルタントなる国家試験の筆記試験のみが免除される特典がある。最初は別に気にもとめなかったが、帰りに本屋で国家試験受験案内を読んでみると、次の如く書いてある。「労働衛生コンサルタントとは、昭和47年労安法施行と同時に作られた新しい資格で、要するに、他人の求めに応じ、報酬を得て、事業場の衛生について診断、指導を行う事を業とする」と書いてあり、更に、将来性のある資格とも言える書き添えてある。また講習会の最終日に、花岡日医会長の挨拶の中で、これから医師急増のおり、又、産業医大の卒業生の出現をひかえて、是非、コンサルタントの資格は取っておくべきとの言葉もあり、小生も40才代に入って、なんとなく、無為に過ぎていく日常生活に、活を入れてマナーから脱却してみようという欲望も手伝って、

ここは一つ挑戦してみることにした。

早速、コンサルタントに関する試験情報を過去の日医雑誌や、都医雑誌で調べ、体験者より試験の具体例を聞いてまわった。

ただ困った事は、小生は、実務の経験はなく、試験では実務に関する事が分っていないと、まず合格は望めないという情報であった。

とり敢えず、参考書は約2冊に的をしぼり、これ他に、雑誌等又は新聞記事で産業医に関係のありてうな項目は切り抜き、サブノートを作り、これらを暗誦する事に努めた。丁度大学受験の歴史物の勉強を彷彿とさせ、いつもは、埃をかぶっている我が書斎の机に向って、気持を昂ぶらせた。

ただ、この時、自分でも意外だったのは、学生時代に比べて、明らかに記憶力が低下した事実であった。前日に暗記した内容が今日ではもうすっかり頭の中から消え去っている。これにはがく然とした。体力の方は、35才位から、なんとなく衰えてきた事は、肌で感じ取ってはいたが、頭の方もブルータスお前もかといった驚きと失意にうちのめされたものである。

試験は口述試験なので、暗記した内容を簡潔明瞭に答える必要があり、出題しそうな事柄は、できるだけ口演するように努めた。

そうこう、悪戦苦闘するうち、早くも試験当日となってしまった。

予定より幾分早めに試験場へ行くと、係りの人が役所らしからぬ、非常に丁寧な態度で、受験生を控室に案内してくれた。控室に入るとすでに受験生とおぼしき面々が、ある者は、瞑目し、ある者は、参考書片手に喫煙をくゆらしている。ただ、どの人物も、人品申しからぬ、恰幅のよい立派な身なりをして、紳士然として、ソファに身をすずめていた。成る程、これでは、若い係員の対応

も丁寧になるのも、頷ける。とにかく、受験生にはみえないのである。

やがて、試験の順番がきて、試験室に招じ入れられた。3名の年輩の試験官を前にして、小生は、計らずも、すっかり緊張して、借りてきた猫の如く、こちこちになっていると、試験官の方で、こちらの気持を察してか、3分位は雑談程度。いよいよ、本命の質問に移ったが、これに回答しても向うが、相槌も打たなければ、返事もないので、独りで喋って 落ち着かないものである。

間もなく、先方の方で、もう結構ですと話の途

中を制止され、気の抜けたように退出した。室を出ると、待っている受験生達の不安そうな目が一斉に注がれるのを感じた。

会場の玄関を外に出ると、2月の寒風が突然当って、見あげると、もう日は沈みかけており、急に力が全身からぬけてくるのを感じた。一瞬立ち止り一呼吸深く息を吸って、なんとなく空虚な気持で帰路についた。道すがら、漠然と、この半年間の受験生活を振り返って、自分なりに 青春時代のようなエネルギーの燃焼みたいなものを感じて一種のナルシズムを味わっていたのであろうか。

医療生き残りの道を探る

大塚 宣夫

— はじめに —

「奢れる者久しからず」の格言通り、国民皆保険や老人医療無料化により、わが世の春を謳歌してきた医療界にも潤落の徴が随所に出てきつつある。この一節を読まれただけで、反発をおぼえられる会員もおられるであろう、しかしその事が既に、現在の医療界の体質を如実を物語っているように思える。

以下 かなり乱暴ではあるが、独断と偏見にもとづく私見を述べてみたい。

— 現状をどう見るか —

「外来ではいつも長時間待たされたあと、きわめて短い時間の診察をうけ、十分な説明もないままに各種の検査をうけ、更に十分な説明もないままに大量の薬をもらって不安のうちに帰宅する。入院となると、病室は狭く、乱雑で、食事はまずく、看護婦は不親切で、少し手がかかると、付き添いを要求され、いつもおどおどしながら何かと医師や職員の機嫌とりに腐心しなければならぬ。

その一方で、医療界は淘汰の殆どないパラダイスであり同程度の能力の一般人より格段と裕福であり、独善的、排他的で世間常識にうとい。医師会は 医師の経済的利益を守るためだけの圧力団体である。これが医療業界に対するイメージである。総合すれば、患者は自分達の犠牲のもとに医療界が不当に割りのよい商売をしている、言葉かえれば医療サービスがきわめて割り高だと思っていることを意味する。

今迄のこれ等のイメージ作りの基盤となつてき

たのが「医療サービスの供給不足、(特に医師、看護婦の不足)を背景とした高姿勢」、「経済法則を顧慮しない潤沢な財源」「周回からの介入を許容しない医学的知識の独占と排他性」であろう。今、これが音をたてて崩れつつある。第一の医師等の不足は医師量産体制により急速に解消し、近い将来、医師過剰、失業時代に突入しようとしている。ここ一年来質を問わなければ勤務医は買い手市場となつてきている。第二の異常に潤沢な財源は、国家財政の悪化から、大幅な圧縮にむかって急展開となっている。

第三の医学的知識の独占や医療界の内状は、マスコミ等の力もあって、その内容が除々に一般大衆に啓蒙されつつあり、医事訴訟の急激な増加等となつてあられつつある。

昨今の医療政策は、二本の柱で進められている。医療費の伸びの徹底的な圧縮と、国家統制の強化である。そして、その作戦は前述の医療界に対するイメージを巧妙にかつ、存分に利用し、時にはそのイメージの増幅をもはかりながら、確実に、かつ急速に歩をすすめている。マスコミにタイミングよく、医療界の悪徳、不正のニュースを流しながらその対策と称して、計画通り一步一步進めているのである。世論なるものは前略の医療界に対する不満のうっ積から、それ等を小気味のよいこととして受け入れ、一諾になって医療界を非難しようとする構造にある。

— 今後の生きるべき道 —

「供給不足を背景とした高姿勢」「潤沢な財源

の浪費」「知識の独占性と排他性」の結果として、医療サービスはきわめて割り高なものとなり、「奢れる者久しからず」の格言通り我々を支えてきた三基盤が崩れていくなかで、一般世論も敵にまわして孤立した戦いを余儀なくされている。従来の発想からは、一切の展望が生まれてこない経済的、社会的地位の低下はさげられず淘汰もされられない現実を厳しく認識しよう。では我々は今、何をすべきであろうか。答えは一つ、一般社会の原理、原則、常識を謙虚に学び、独善を排することであると確信する、「医療は営利を目的としてはならぬ」の合言葉のもと、手厚い保護をうけ、誰がやっても成り立つような財源、制度を要求してきた、この咎めが今ふき出している。一般

企業は、「よく多くの満足をより低価格で」が生き残るための大原則であり、この実現のためにいつも全力をつくしている。我々は医師として又、医師会として今迄、このような企業努力をしたことがあろうか。「同じ価格ならより多くの満足を提供すること、同じ満足ならより低価格で提供すること」をいつも意識し、それにむかって創意工夫を重ねたことがあろうか。地道に努力を積み、世間一般が医療サービスを割り安だと感じ始める時こそ世論を味方として、医療界の地盤沈下がとめられる時である。我々が「病気をなおし、健康を守る」とどんなに大上段に振りかぶってみたところで、所謂医療は「修理屋」にすぎず、経済原則から遊離しては存在しえないのだから。 終り

同好会だより

**第35回 西医ゴルフ研修会
兼第14回 西狛対抗戦**

昭和58年5月29日
於 狭山GC

高水先生の御尽力により、今回も狭山GCにて開催する事が出来、狛江医師会の先生方にも大変よろこんで頂きました。また小生幹事でありながら学会出席の為その責をはたせず、川崎先生におんぶしてしまいました。両先生に感謝致します。

さて、成績の方は西医勢の調子がよく、宮川先生のベスグに優勝を初め、準優勝に川崎先生、3位も大嶽夫人がくいこみ、対抗戦も西医が優勝しました。(足立)

| | 中 | アウト | G | HD | N | R |
|-------|----|-----|-----|----|----|----|
| 宮川 | 40 | 40 | 80 | 9 | 71 | 優 |
| 川崎 | 53 | 48 | 101 | 25 | 76 | 準優 |
| 大嶽(繁) | 52 | 49 | 101 | 25 | 76 | 3 |
| 山田 | 46 | 47 | 93 | 17 | 76 | 4 |
| 稲垣 | 49 | 58 | 107 | 30 | 77 | 5 |
| 藤川 | 49 | 41 | 90 | 13 | 77 | 6 |
| 高水 | 50 | 50 | 100 | 22 | 78 | 7 |
| 内山(淳) | 54 | 57 | 111 | 31 | 80 | 8 |
| 葉山 | 47 | 48 | 95 | 14 | 81 | 9 |
| 岩瀬 | 48 | 47 | 95 | 14 | 81 | 10 |
| 佐藤 | 52 | 47 | 99 | 17 | 82 | 11 |
| 山口(岱) | 52 | 46 | 98 | 16 | 82 | 12 |

| | | | | | | |
|-------|----|----|-----|----|-----|-------|
| 大嶽(栄) | 42 | 50 | 92 | 9 | 83 | 13 |
| 鈴木 | 43 | 54 | 97 | 13 | 84 | 14 |
| 松岡 | 49 | 49 | 98 | 14 | 84 | 15 |
| 内山(大) | 47 | 50 | 97 | 12 | 85 | 16 |
| 松原 | 50 | 53 | 103 | 18 | 85 | 17 |
| 杉本 | 48 | 55 | 103 | 17 | 86 | 18 |
| 市原 | 53 | 49 | 102 | 16 | 86 | 19 |
| 江本 | 50 | 48 | 98 | 11 | 87 | 20 |
| 近藤(正) | 57 | 53 | 110 | 23 | 87 | 21 |
| 近藤(高) | 50 | 47 | 97 | 9 | 88 | 22 |
| 青井 | 53 | 59 | 112 | 24 | 88 | 23 |
| 山口(陽) | 49 | 55 | 104 | 16 | 88 | 24 |
| 笹本 | 63 | 50 | 113 | 24 | 89 | 25 |
| 立花 | 57 | 65 | 122 | 23 | 99 | 13.13 |
| 川島 | 62 | 66 | 128 | 26 | 102 | 13. M |

第109回 西多摩医師会ゴルフ大会

昭和58年6月19日(日)立川国際草花コースで行われた。ネット73で3人が並び、年令差で葉山先生が優勝となった。成績は次の通りであった。次回は8月25日(木)霞ヶ関CC。

| 氏名 | アウト | イン | グロス | ハンデ | ネット | ランク | 新ハンデ |
|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|
| 葉山 | 47 | 44 | 91 | 18 | 73 | 優勝 | 14 |
| 鈴木 | 40 | 46 | 86 | 13 | 73 | 2 | 12 |
| 林 | 41 | 41 | 82 | 9 | 73 | 3 | 8 BG |
| 山口 | 48 | 42 | 90 | 16 | 74 | 4 | |

あとがき

| | | | | | | | |
|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 藤田 | 43 | 45 | 88 | 10 | 78 | 5 | |
| 川崎 | 52 | 55 | 107 | 26 | 81 | 6 | |
| 内山 | 46 | 46 | 92 | 10 | 82 | 7 | |
| 杉本 | 49 | 49 | 98 | 14 | 84 | 8 | |
| 江本 | 49 | 47 | 96 | 12 | 84 | 9 | |
| 足立 | 49 | 48 | 97 | 13 | 84 | 10 | BB |
| 笹本 | 58 | 54 | 112 | 24 | 88 | 11 | |

第36回西多摩ゴルフ研修会

①昭和58年7月9日

於 札幌GC 輪厚コース

②昭和58年7月10日

於 札幌GC ユニコース

東京を出発する迄、不順な天候が続き、心配しましたが、空港からゴルフ場に行く30分位の間に、本当にアッという間に雲が消え、2日間とも快晴に恵れました。

初日はゴルフ終了後、札幌市内にて夕食会を開き、産地直送の毛ガニ等の海の幸を満喫し、心ゆく迄生ビールのジョッキをかたむけました。

2日目は早く終わったので、ゆっくり風呂に入った後、パーティを開き、またまた生ビールをグイグイ飲みながらワイワイ、ガヤガヤ。

成績の方は、今一つスコアの伸びがみられませんでしたでしたが、2日間を通してコースも天気も申し分なく、楽しくプレーが出来た上、トラブルも病気もなく、全員無事に帰京する事が出来、幹事として、ホット肩の荷がおりた感じです。

なお、今回のゴルフツアーが成功したのは、青梅市立総合病院工藤先生の多大なお骨折りがあったおかげです。有難うございました。(足立)

| | 輪厚 | ユニ | G | HD | N | R | 新HD |
|--------|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|
| 林 | 89 | 87 | 176 | 20 | 156 | 優 | 8 |
| 後藤 | 96 | 98 | 194 | 32 | 162 | 2 | 14 |
| 鈴木 | 101 | 94 | 195 | 26 | 169 | 3 | 12 |
| 大河原(周) | 112 | 111 | 223 | 48 | 175 | 4 | |
| 足立 | 98 | 111 | 209 | 32 | 177 | 5 | |
| 堤 | 115 | 108 | 223 | 44 | 179 | 6 | |
| 工藤 | 102 | 111 | 213 | 32 | 181 | 7 | |
| 川崎 | 118 | 116 | 234 | 52 | 182 | 8 | |
| 立花 | 115 | 113 | 228 | 46 | 182 | 9 | |
| 大河原(鏡) | 130 | 129 | 259 | 72 | 187 | 10 | |

かつて中学時代、古寺巡礼的な興味から夏休みの3週間を鎌倉建長寺で過したことがある。その夏は40日以上真夏日がたえることなく、深い木立のなかとはいえ境内は湧るような暑さにつつまれ、座禅どころではなかった。心頭滅却すればの一念で精神統一につとめてみたものの、材木座海岸は今頃どうだろうか、アイスクャンデー、スイカはまだかの妄想おさえがたく、下腿のシビレ感をこらえて歯を食いしばっていたのであった。

夕暮れともなれば、半僧坊へ至る寺の脇道をひっそりと行く二人連れが気になり、ここは鎌倉でも有名なアベックの名所とあってノゾキに行こうかとそそのかさされ？、いやそそのかしたか。そんな精神修養をかねてのレクリエーションであった。思えば4半世紀前のことである。

ここ数日来、記録的な暑さのなかを五日俳人・中村草田男が逝った。

「炎熱や勝利の如き地の明るさ」

村山 記

今月号は恒例の夏の随筆集として編集しました。常連の先生 新顔の先生方の力作をお楽しみいただけましたか。6月中旬に関東地方は梅雨に入り約1ヶ月半、今年は冷夏などといわれ、すっかり涼しさに慣れきった身に今月に入ってからの暑さは流石に厳しく、熱帯夜の連続にバテ気味の毎日です。

特に老人には気温の急変から受ける影響が多く脳卒中、癌等でこれまで如何にか持ちこたえてきた御老人達がそろって熱発、更に脱水状態より意識消失へと進行、連日往診にてんてこ舞でしたが、多数の方が他界されました。こうした患者さんの家族の方に病院への入院をすすめても最後は家で看取ってやりたいと云う家族の希望が最近では以前よりも多くなったように感じられます。老人医療制度の問題、ターミナルケアといった問題に対する患者側の意識等がそこにあるように思われます。

夏は暑いほど秋の実りは豊といわれます。諸先生へ末筆ながら暑中お見舞申し上げます。

栗原 記



関東医学検査研究所

埼玉県所沢市岩岡町281-58

TEL. (0429) 23-7272(代表)

特殊検査のルーチン化を目指す

関東医学研究会グループ

関東医学検査研究所 埼玉県所沢市岩岡町281-58
 埼玉臨床検査研究所 埼玉県鴻巣市天神三丁目673
 群馬臨床検査センター 群馬県前橋市六供町1360-1
 東京臨床検査研究所 東京都板橋区徳丸4-14-18
 インターナショナルサイエンスラボ 東京都板橋区成増5-1-2
 セントラルラボラトリー 東京都中央区日本橋兜町12-7

主要検査項目

内分泌機能検査
 生化学検査
 薬物検査
 微量金属代謝検査
 免疫血清学検査
 ウイルス検査
 血液学的検査

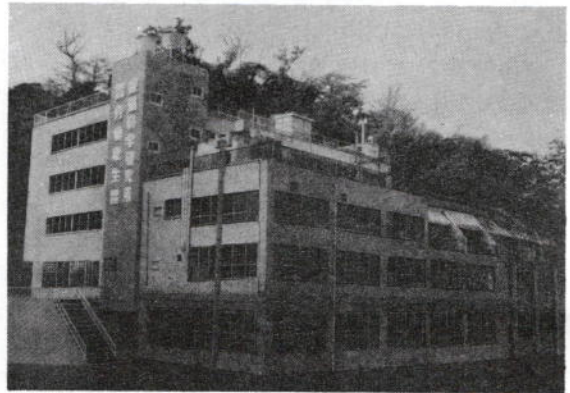
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
- 関係医療機関 約 3,500ヶ所
- 広範囲な検査内容
 - 内分生物学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。